

	子どもの声・姿・意識 (総合的な学習の時間→総合)	活動の展開	教師の関わり(手立て)	単元の評価規準 ○知識・理解 ○思考・判断・表現 ●主体的に学習に取り組む態度 <キャリア・未来デザイン教育の視点> [探究的な学びの視点]
一 学 期	<p>・3年生のときは、竹・紙・大蔵大根・お皿・竹灯など様々な活動をしたよ。</p> <p>・今年の4年生は『和』というテーマで探究していくけど、『和』と聞いてイメージするのはどんなものがあるかな？</p> <p>・「和」と聞いてイメージするのは、和紙、昔話、和服、和食、和菓子、伝統工芸品などだね。挙げていったらキリがないなあ。</p> <p>・自分が知らないだけで『和』のものってたくさんあるんだね。</p> <p>・去年3年2組がやっていた紙漉き気になるなあ。</p> <p>・今年は紙をもっと極めよう！もっとすごい作品を作りたい。</p> <p>・和紙を漉いてみたい！染めてみたい！</p> <p>・プロが作った紙人形みたいな和紙作品を作つてみたい！</p> <p>・自分たちが漉いた紙を使って、和紙作品展を開くとおもしろそう。いろいろな人に見てもらいたいな。</p> <p>・和紙の魅力を広報したい！</p> <p>・自分たちは和紙について何も知らないな。まず和紙って何から作られるの？</p> <p>・和紙の原料は植物らしい。今年は育てるところからチャレンジしてみたいな。</p> <p>・和紙ってどう作るの？どんな道具が必要なの？グループに分かれてそれぞれ調べよう。</p> <p>・和紙って「漉く」っていうんだね。実際に漉いてみたいな。</p> <p>・初めての紙漉きドキドキワクワク、成功するかなあ。</p> <p>・実際にやってみると難しい、上手く広がらない。</p> <p>・こんなドロドロしたものがあの紙になるのか…！</p> <p>・こうすると上手に漉けるよ！もう一回やってみよう。</p> <p>・和紙を漉くって結構難しいな。でも楽しい！</p> <p>・もっと極めて自分だけの和紙を漉きたいな。</p>	<p>○昨年度の総合について振り返り、新年度の総合の学年テーマ「和」からイメージを膨らませ、学級のテーマを決める。(1)</p> <p>○そもそも和紙とは何から作られるのか、原料について調べ、楮、三桠を植えたり観察したりする。(2)</p> <p>○グループに分かれ、和紙の漉き方、道具など基本的な知識を蓄える。(5)</p> <p>○紙漉きの準備を行い、実際に紙漉きを行つてみる。(4)</p>	<p>○昨年度の総合を思い出し、今年度のテーマに興味をもてるようする。</p> <p>○教師が所有する和紙作品を見せ、実際に紙を漉いてみたい、和紙作品を作つてみたいという意欲をもてるようする。</p> <p>○相手意識につながるように「どんな人に和紙作品を見てもういたい？」と聞く。</p> <p>○原料について調べた際に、「実際にみんなで育ててみる？」と声を掛け、意欲につなげる。</p> <p>○紙漉きを行うために必要な道具を山崎小学校からお借りする。</p> <p>○紙漉き用に加工された楮を高知県から取り寄せる。</p> <p>○まずは漉いてみよう！やってみよう！と声を掛ける。</p> <p>○怪我や事故には気を付けつつ、なるべく児童同士が声を掛け合いながら紙漉きを行うよう、教師は口を出さずに待つ。</p> <p>○原料に触れることで、「これから紙が作られるのか！」と児童が一からものづくりをする喜び、感動を味わえるようにする。</p>	<p>[1:課題を見出し、把握している] <③課題対応能力> <④キャリアプランニング能力></p> <p>[1:課題を見出し、把握している] <②自己理解・自己管理能力></p> <p>●実際に紙漉きを行い、班の友達と協力しながら活動にすすんで取り組んでいる。</p> <p>◎最初の紙漉きにおいて、「もっとこうしたい！」という願いをもち、その願いに向けて自分ができることを考えている。</p>
二 学 期	<p>・自分が漉いた和紙になにか文字を書いてみよう。季節の俳句を書いて展示するときだね。</p> <p>・絵も描いてみたいなあ。昔の画家みたいな絵が描けるとかっこいいなあ。</p> <p>・和紙って普段使っている紙と全然違うね。</p> <p>・次は色を付けてみたいな。和紙ってどうやって染めるのだろう。</p> <p>・自分が漉いた紙を使って文字や絵を描くのはすごく楽しい。もっと紙を漉きたい！</p> <p>・1学期にやったことを生かしてもっと〇〇な紙を漉きたいな。</p> <p>・1回目よりも上手に漉くことができた！</p> <p>・もっとたくさん漉きたい！楽しい！</p> <p>・均一に広げて漉くことができない。</p> <p>・厚さを一定にしたいのに…。</p> <p>・うまく乾かせない。</p> <p>・道具を上げるときにうまく広がらないなあ。</p> <p>・何かコツはあるのかな。本やインターネットで調べてみよう！</p> <p>・だんだん上手にゆれるようになってきた。</p> <p>・綺麗な和紙が漉けるようになってきた！</p> <p>・やっぱり『和』ってすてきだなあ。</p> <p>・上手に漉けるようになってきた！今度は自分たちが漉いた究極の和紙で何か作つてみたいな。</p>	<p>○漉いた紙を使って、文字や絵をかいたり、染めてみたりして、和紙の良さに触れる。(2)</p> <p>○「こんな和紙を漉きたい！」という各自の願いのもと、試行錯誤しながら紙漉きを行う。(3)</p> <p>○「もっとこうしたいのに…」という課題をもち、どうすれば解決できるか考える。(2)</p> <p>○自分の課題と向き合いながら、紙漉きを行う。(3)</p>	<p>○和紙に文字や絵をかくところから始め、次に色を付けてみるなど、今後の活動に向けてだんだんと段階を上げていく。</p> <p>○一人ひとりが「こんな和紙を漉きたい！」という願いをもてるよう、「漉いてみてどうだった？」「どこか上手くいかなかつたところはある？」「もっとこうしたいっていうところはある？」と声を掛ける。</p> <p>○回数を重ねていくなかで達成感につながるように、記録をとつて、うまくなつたところ、成長したところを技能面やグループの人との関わりなど様々な視点から褒め、認めていく。</p> <p>○もう一度、うまくいかなかつたところなどを問い合わせる。</p> <p>○紙漉きを終えた後、年度初めに見せた和紙作品の人形を児童に見せ、和紙作品を作ることへの意欲を高める。</p>	<p>◎和紙や和紙作品の魅力発信を目指して必要な情報を、手段を選択して収集している。</p> <p>[1:課題を見出し、把握している] [2:課題解決の方法を考えている] [3:協働して学んでいる] <①人間関係形成・社会形成能力></p> <p>●毎回、紙漉きを振り返ることを通して、より「〇〇したい！」という自分の思う究極の和紙を漉こうと、探究活動にすすんで取り組もうとしている。</p> <p>◎収集した情報を、取捨選択したり、複数の情報や考え方を比較したり、関連付けたり焦点化したりしながら、解決に向けて考えている。</p> <p>[4:学びを振り返り、次につなげている] <①人間関係形成・社会形成能力> <②自己理解・自己管理能力> <③課題対応能力> <④キャリアプランニング能力></p>

漉いた紙を使って和紙作品を作ることを通して、自分たちの活動を振り返り、他教科に関連付けて広げる。(18)

- ・全国にはいろいろな染め方があるみたいだよ。伝統工芸について知りたい。
- ・漉いた紙、染めた和紙を組み合わせてみたり形を加工してみたりして、和紙作品を作りたい。
- ・和紙をいろいろ貼り合わせたり、染めたり、切ったりなどいろいろなことができそうだね。
- ・先生が持っている和紙の人形のようなものを作ってみたい！ほかにはどんな和紙作品があるのだろう。夏休みに調べたものを参考にして、作ってみよう。
- ・作ってみると思ったより難しい。やっぱり職人さんてすごいな。
- ・たくさん和紙作品を作つて展示したいな。みんなに見てもらいたいな。
- ・4年5組のオリジナルの和紙作品展を開こう！
- ・ほかの先生や学校の人、おうちの人を見てもらいたいな。和紙作品展を開くための準備をしよう。

- 和紙作品を作るための計画を立てる。(2)
- 計画のもと、試行錯誤を繰り返して紙漉きを行いながら、和紙作品を作る。(12)
- 和紙作品展の計画を立てる。(4)

- 全国の有名な和紙作品、1学期に世田谷美術館で展示されていた和紙アートなど、子どもたちが「作りたい！」と思うようなものを見せていく。

- 一人で黙々と作りたい児童、仲間と協力して作りたい児童、様々な児童がいると考えられるため、何を誰と作るかという指定はしない。
- 作つて終わりではなく、「作品を通して和紙の魅力を伝えていく」ということを見据えて活動ができるように声を掛けれる。

- 保護者や学校の人に見てもらえるような機会を設けられるよう、関係各所と相談する。児童には、学習発表会で展示することも可能ということを伝える。

- どんな和紙作品を作りたいか、和紙の魅力を発信してくための課題を見出している。

[1:課題を見出し、把握している]

- 自分の状況や取り組みを振り返り、伝統文化、伝統工芸を引き継いでいくために自分にできることを積極的に考え、和紙作品作りに取り組んでいる。

[2:課題解決の方法を考えている]

- 課題解決に向か、同じ願いをもつ者と協力したり、違う願いをもつ者と意見交換したりと、相手意識や目的意識を明確にしながら活動している。

[3:協働して取り組んでいる]

<③課題対応能力>

<②自己理解・自己管理能力>

- 紙漉きや和紙作品には、昔の人々の思いが込められて現代まで受け継がれることや日本の伝統工芸、伝統文化への理解は、今までの紙漉きや他教科と結び付けての探究的な学びを重ねた結果であると気付いている。

[4:学びを振り返り、次につなげている]

「紙」の魅力を広げる。1年間の成果となる和紙作品を展示して「和紙アート展」を開く。(12)

- 三
学
期
- ・学習発表会で和紙、和紙作品の魅力を伝えたい！
 - ・自分たちの成長を、関わった方に見てもらいたい！
 - ・他の学年の人と和紙、和紙作品の魅力を紹介したい！
 - ・探究することが楽しかった！
 - ・いろいろな人に和紙作品を見てもらえて嬉しい！
 - ・総合的な学習の時間での学びを生かして、5年生でも探究していこう。

- 和紙、紙漉き、和紙作品の魅力をまとめる。(4)
- 学習発表会等で和紙作品の魅力を紹介する。(2)
- おうちの方を招いて「和紙アート展」を開催するために、準備をする。(3)
- 1年間の成果となる和紙アート展を開始する。(2)
- 今年度の成果と課題をまとめる。(1)

- 今までの活動の記録、写真をもとに、自分たちにしかできない魅力発信を考えるように促す。
- 今までの学習の軌跡について、児童が自分の成長を、実感をもって話すことができるようたくさん記録をとっておく。
- 紙漉き、和紙作品作りを通して学んだことを5年生につなげるためにキャリア・パスポートを活用する。

- [1:課題を見出し、把握している]
- 活動を通して調べたり考えたりしたことについて、相手意識や目的意識を明確にしながらまとめる方法が分かっている。

[2:課題解決の方法を考えている]

- 和紙の魅力を発信するために、友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に向けて取り組もうとしている。

[3:協働して学んでいる]

- 伝える相手や目的に応じて考えをまとめ、和紙の魅力を適切な方法で表現している。

[4:学びを振り返り、次につなげている]

<④キャリアプランニング能力>

<②自己理解・自己管理能力>

材（和紙、和紙作品）のもつ価値

- 紙漉きを繰り返し行い、新たな課題を見付け、その課題に向き合い自分がイメージする究極の和紙を追究することで、課題を解決する力を身に付けることができる。
- ・和紙と洋紙とを比べて違いに気付き、伝統文化の良さに触れることができる。
 - ・自分が作った和紙作品を見てもらい、「すごい！上手だね！」と言われることで達成感を得ることができる。
 - ・紙漉きを行い、和紙作品を作ることで、全国の伝統工芸品について知り、理解を深めることができる。

材（和紙、和紙作品）に寄せる子どもたちの思いや願い

★和紙を漉きたい、和紙作品を作りたいと思っている。

☆紙漉きや和紙作品作りを楽しんでいる。

☆自分が漉いた紙を使って和紙作品を作ることで、自分が考える和紙作品を作りたいと願っている。

☆和紙、和紙作品について深く知ることで、和紙、和紙作品の魅力を多くの人に伝えたいと考えている。

★…子どもたちの深層にあると予想される求め・思い・願い